

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● BP材（岐阜県産材）を用いた非住宅施設の視察・勉強会

（木材利用拡大委員会 非住宅木質化PJ）

7月16日（水）に長野県阿智村のグランピング施設【mokki STARDUST GLAMPING achi village】にBP材※₁（岐阜県産材）を使用した宿泊施設が新たに建設されたため、現地での視察・勉強会を開催しました。（ぎふの木ネット協議会との共催）



グランピング施設

また、今回視察した宿泊施設はBP材のほか、近年新たに開発された、「ぎふ重ね梁※₂」と「斜め板張り床※₃」も使用されていたことから、併せて視察することができました。



BP材

※₁心持ち正角材を2～5段重ねに接着した木質材料で、スパン長が3～10mまで可能であり、住宅の柱、横架材から、非住宅施設の中規模木造の柱、横架材まで利用可能な新たな木質材料

※₂BP材の代替品として開発された、正角材を湿式（接着剤）ではなく、乾式（金物（ビス、帯金物））で複数段重ね接合した木質材料

※₃構造用合板の代替品として開発された横架材に対し斜めに板材を張り付けた下地材



ぎふ重ね梁・斜め板張り床

勉強会は、特定非営利活動法人WOOD ACの河本^{こうもと}和義^{かずよし}様（一級建築士事務所 テドック 代表）と坂^{さか}崎^{さき}有^{あり}祐^{ゆう}様（有建築設計舎 代表）を講師にお招きし、BP材等で建設された宿泊施設の中で、設計

・構造等についてご講義いただきいただきました。

参加者から、「重ね梁の複合と板での水平構面が理解できた」、「公共物件への活用を考えていきたい」、「イメージしていたBP材の使用方法和異なり、興味深かった」などの意見がありました。

新技術や今後普及する可能性のある新しい工法、材料などの勉強会の開催要望があったことから、今後も引き続き非住宅の木質化促進に関する視察・勉強会等を開催していこうと思います。

● 若手会員による県職員との意見交流会（若手の会）

若手の会は会員企業の40歳以下の従業員を対象に、会員相互の連携強化や異業種間の交流促進を目的とし、平成30年度より継続的に開催してきました。今年度は林業や木材関連産業の現場で活躍する方々の声を若手の県職員に直接届け、行政側の理解を深めるとともに、若手同士の新たなネットワークづくりを目的とした「若手会員による県職員との意見交流会」を8月29日（金）に開催いたしました。

はじめに、全体で自己紹介を行った後、各グループに分かれて意見交流を行いました。意見交流では、参加者から、現在の職に就いた経緯、現在の職場環境、業務上で困っていること等活発な意見交換が行われました。林業業界は転職者が多いことや林業を通じて地域への還元する思い等、新たな気づきがありました。また、ご参加いただいた会員へのアンケートでは、

- ・ 県職員の方や、他の企業さんなどと新たな繋がりを持つことができ良かった。
- ・ 普段交流することの少ない農林事務所の方や民間事業者の方とお話することができ、非常に有意義な時間であった。

等の新たな繋がりについてのご意見をいただきました。また、

- ・ 林業関係者様は、まだまだ40～50代の方が多いと感じます。20代の私としては、常に気を張った状態で仕事をする事が多く、他の20代の意見や考えもなかなか知ることができていませんでしたが、本交流会を通して、仕事の悩みや取り組む際の心構えなど、共感できることが多くあり、少々気が楽になったと思います。林業関係の仕事をしていく中で、今後関わりをしていく方々だと思うので、今後の関係を構築しやすくなった本交流会は非常に助かりました。

といった若手の抱える悩みに対して、前向きなご意見をいただくことができました。

コンソーシアムは、少しでも林業・木材関連産業の横の繋がりを増やし、より連携した産業になることに貢献したいと思います。引き続き若手の会が開催できるよう進めていきます。



コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行： 岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）

〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529

E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp